

を自己に求める自己志向的完全主義と精神的健康の関連について研究を行ってまいりました。ストレス社会と呼ばれる現代社会では、気分障害の総患者数が増加傾向にあります。そのような中で、全ての人々が自分らしく心身ともに健康でいることは重要であり、達成すべき目標でもあります。そうしたことの実現に少しでも寄与することが研究に携わる者の使命であると考え、研鑽を積んでまいりました。

今、こうして振り返ってみると、大学院生として過ごした2年間は、コロナ禍の影響もあり、決して平坦とは言えない道のりであったと思います。最初に直面した壁は、調査に協力していただける方を募ることでした。対面での授業が少なくなったことで、直接お会いして調査を依頼することが容易でなくなり、難航を余儀なくされました。さらに、初めて経験した学会発表は、オンラインによる開催となり、頂戴した質問に対して文字だけで返答することの不自由さに悩むことがありました。それでも、多くのご助言、ご助力をいただくことで、研究を進めることができ、自身の研究に興味を持っていただけることの嬉しさや、様々な立場の方々と議論することの楽しさを知るとともに、研究の幅が広がり、奥行きが深まっていくことを実感いたしました。

また、大学院の授業では、これまで以上に発表の機会をいただくことが多く、それを通じて、物事を考え、理解し、それをわかりやすく伝える力を養うことができました。さらに、認知・生理心理学、社会・産業心理学、発達・教育心理学、健康・人格心理学、計量・方法心理学の5領域をもとにした包括的な学びは、自身の研究を多角的に捉えることにつながり、これは研究以外の場においても役立つものとなりました。

このように困難があったものの、それを乗り越え、中学生の頃からの夢を叶えるだけでなく、社会で応用可能な技術や技能を培い、修了を迎えることができました。これは、指導教員である細越寛樹先生をはじめとして、ご指導、ご鞭撻を賜りました先生方、研鑽し合った仲間、あたたかく見守り支え続けてくれた家族など、多くの方々のおかげであると感じております。この場をお借りして、改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

周囲に目を向けてみると、前述した精神的健康の問題のほかにも、社会には様々な課題が山積しています。今後も、こうした課題の解決に少しでも貢献できるよう、本学で学んだことを活かし、精進していく所存です。

博修士会からのお願い

郵便振替 00900-2-68733 関西大学博修士会

特別協力金のご協力をいただきました会員の皆様にお礼申し上げます。会の財政が逼迫しておりますので、本年度も引き続きご協力をお願いいたします。1口1,000円、できれば2口以上お願いいたします。また、終身会費15,000円を未納の方は、納入をお願いいたします。

特別協力金納入者名簿 (五十音順、敬称略) (2022年4月1日~2023年3月31日)

明 田 佳 久	天 井 一 夫	今 村 隆	岩 井 治 夫	大 倉 俊
大 森 一 成	岡 照 二	緒 方 正 則	小 田 廣 和	小 幡 齊
北 嶋 弘 一	北 村 英 子	木 下 雅 信	五 藤 勝 三	竿 田 嗣 夫
佐々木 保 幸	笹 倉 淳 史	鹿 田 幸 治	篠 塚 義 弘	芝 井 敬 司
竹 中 敏 治	田 鍋 耕 三	椿 信 二	豊 永 彰	中 原 住 雄
西 座 新 二	羽 間 弘	橋 寺 知 子	濱 田 晃 之	飛 田 篤
平 野 裕	藤 井 昭 三	松 田 充 弘	松 本 始	真 部 和 義
宮 崎 亮 太	明 神 信 夫	村 中 徳 明	山 内 紀 嗣	山 本 秀 樹
山 元 哲 朗	横 田 伸 敬	若 林 優 哉		